

事業所名: グループホーム たんぽぽ憩の家

作成日: 平成 26 年 2 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	26年度は、あらためて身体拘束に関する研修を受ける機会を作り、身体拘束に含まれる内容の理解を深めていきたいと考えている。リスクマネジメント委員会でマニュアルの見直しをおこなうと共に、身体拘束をしないための方法の検討も続けていく予定である。	身体拘束に関しての理解を深める機会を作ると同時にマニュアルの見直しをおこなう。	施設外の研修の機会を持つこと。リスクマネジメント委員会での身体拘束における事例集の作成やマニュアルの見直しに取り組む。	12 ヶ月
2	40	今後も引き続き、テラスで桜などのお花を見ながら食事をする機会を作ると共に、H26年8月からはホームに単独の施設となり、食卓にも余裕が出る為、職員も一緒に食事をする機会を増やしていく予定にしている。	入所者様と一緒に食事を楽しみ、食事の内容についての話題をもてる。	現在は食卓を一緒に囲む席の余裕がないが、8月よりはホームの入所者様だけの支援になるため、テラスでのお食事会やお弁当など入所者様と同じ食卓を囲んで楽しく会話しながらの食事支援をおこなう。	12 ヶ月
3	2	今後も町内会や老人会、小中学校(子ども会)への働きかけをおこない、地域活動の現状を把握していきたいと考えている。登校時の見守り支援(旗振り)や体験学習の受け入れなど、ホームで取り組める活動を見つけていく予定にしている。	地域の方とのつながりの中で利用者様とより多くの交流が図れる。	地域の子供たちとの交流が図れるよう、小学校や中学校に働きかけを行い、交流の機会が持てるような活動をおこなう。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月